

## 佐賀大学学術情報処理センター

渡辺義明

佐賀大学学術情報処理センター

佐賀市本庄町1番地

Tel: 0952-28-8592

Email:director@cc.saga-u.ac.jp

### 1 概要

情報処理センターの業務分野は社会の情報化進展に伴い大きく拡大しています。佐賀大学学術情報処理センターは、この時代背景を受けて、大学における学術情報を支える基幹情報システムを統括するとともに、大学の学術情報環境の整備推進及び電子図書館機能の充実を図ることを目的として設立されました。本センターでは、基幹情報ネットワークの整備維持、共通の学術情報システムの整備維持、電子図書館機能の整備維持、情報化の技術支援、学術情報環境の整備推進などの業務を行います。

### 2 沿革

S45. 2: 電子計算機室設置

S55. 8: 電子計算機センターに名称変更

S63.12: 情報処理センター設置

H 1. 9: JUNET 参加

H 2. 9: JAIN 参加

H 3. 4: EthernetLAN の全学敷設

H 4.10: KARRN(Kyushu Area Regional Research Network) 設立、佐賀 NOC 運営

H 5.12: 情報処理演習室の増設

H 6. 4: FDDI 基幹 LAN の敷設

H 7. 5: SINET 接続を 1.5Mbps へ高速化

H 8. 3: ATM-LAN の敷設

H 8. 3: 附属中学校、小学校のネットワーク化

H 8.10: SCS の運用開始

H 9. 4: PPP 接続の運用開始

H10. 2: センターシステム更新

H10. 4: 全学生へ計算機利用 ID 発行

H10.10: QCN128kbps(QTNet) 接続

H11. 9: 建物内 LAN を 100Mbps へ高速化

H12. 4: 学術情報処理センター設置

H12. 5: SINET 接続を 6MbpsATM 回線へ高速化

### 3 組織

本センターは、センター長（併任）の他、教授 1、助教授 1、技官 3、学術情報係長 1（併任）、係員 2（併任）の人員で組織されています。これに加え学内措置として、助教授 1 と助手 1 が配置されています。また、非常勤職員、パート職員、学生アルバイトを雇用しています。

センターに関する重要事項は、センター長が議長を務める全学委員会の学術情報処理センター運営委員会で決定されます。運営委員会の下に運用委員会、ネットワーク専門委員会、システム検討委員会、SCS 専門委員会、電子図書館専門委員会等の専門委員会を置き、専門的および日常的運営を行っています。

### 4 業務

学術情報処理センターでは以下の業務を行います。まず、研究用に必要とされる計算資源や各種入出力装置等を整備し、研究活動を支援します。また、教育用計算機環境を整備し、情報処理教育の支援および大学教育への情報機器利用の支援促進を行います。さらに、学内組織を結ぶ基幹ネットワークを整備し、情報の流通を支援促進します。

これら従来業務の拡充に加えて、図書館の情報システムを整備し、ネットワークやデータベースなど電子的媒体を用いた電子図書館機能の拡充整備を目指します。また、大学における情報流通の基盤となりうる安全かつ快適なネットワーク環境を整備します。さらに、SCS システムを維持すると共に、学内情報化および地域情報化の支援を行います。また、業務と並行して、関連技術の調査・研究開発を行います。

### 5 システム

#### 5.1 一般・研究用システム

UNIX 機を中心に計算サーバ、計算支援サーバ、ファイルサーバ等を設置し科学技術計算等に提供しています。利用者端末としてセンター内に X 端末を整備していますが、現在ではネットワーク経由の利用が多数を占めています。また、DNS、Mail、HTTP、ftp などのネットワークサービスを提供しており、研究に限らず、事務連絡、情報発信等に盛んに利用されています。

登録は自己申請によって行いますが、現在では教職員のほぼ全員が登録しています。学生は基本的には次の教育用システムを利用しますが、指導教官から申し出があれば利用を許可しています。なお、利用課金はセンターシステム全体で行っていません。

#### 5.2 教育用システム

利用者端末として、3 つの演習室に WindowsNT 機を計 180 台配置し、Windows 環境と UNIX 環境（Windows 上の X 端末ソフト経由）の教育ができるようにしており、どの端末からも同一環

境が利用できます。ユーザ管理は UNIX 機で統合しており、統一したユーザ ID、パスワードを使い、Windows 利用時も UNIX 側の認証を受ける方式を取っています。演習室は、平日 8:30 ～ 20:00、土曜日 8:30 ～ 17:00 の時間帯に開放しており、常に盛況を呈しています。

学生は、入学時に学務部のデータによって全員登録し、卒業時に削除します。ただし、ユーザとしての自覚を促すため、情報処理演習受講または自己申請により利用可能としています。

### 5.3 ネットワーク

幹線部分に FDDI を持ちますが、これと並行して全学に 100Mbps イーサネットを配備しています。また ATM-LAN をマルチメディア LAN として位置付け、SCS の学内中継などに利用しています。学外接続は、SINET ノードの九州大学と ATM6Mbps で、民間の QTnet と 128kbps で行っています。

### 5.4 附属図書館システム

附属図書館に、情報サーバ、利用者端末、グループウェア端末など WindowsNT を用いたシステムを導入し、インターネット対応のシステムとして目録情報交換やネットワーク検索等を可能としています。

### 5.5 電子図書館機能の整備充実

学術情報処理センターへの改組に当たって、新たな業務である電子図書館機能の整備充実のためのシステムを、今年度末に導入します。本センターでは、本システムを佐賀大学の総合的なオンライン学術情報システムとしての位置付けを持たせたいと考えています。そのため、附属図書館目録のオンライン提供に留まらず、貴重書、シラバス、教員情報など様々な学術情報のオンライン提供及びそれらの横断検索機能を提供する予定です。

## 6 おわりに

教育・研究用システムの整備維持は、継続して当センターの大きい業務となります。それに加えて、直面する大きい課題として電子図書館機能の充実とネットワーク管理の整備があります。電子図書館機能の充実、附属図書館と本センターの協力の元で推進することになりますが、その方向性と具体像の策定には今後長期にわたる検討が必要です。また、ネットワーク上のトラブルが多発しており対策が急務の課題です。

IT 革命の時代といわれ、センターを取り巻く社会情勢は年毎に激変しております。全ての社会活動が情報化・ネットワーク化していく現在、センターは何を担うのか難しい問題です。

佐賀大学 学術情報処理センターシステム 構成図



